

北海道浮魚ニュース

平成 22(2010)年度 4 号

2010 年 6 月 15 日

北海道立総合研究機構水産研究本部
釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- 表面水温は前年より約1℃低い。
- スルメイカの分布密度は低い。
- 体サイズは前年と同程度。

調査期間 : 2010 年 6 月 7~14 日

調査海域 : 道東太平洋 (北緯 41 度ライン上)

調査船 : 北辰丸(釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 7.9~12.2℃で, 前年 (8.2~13.6℃) よりも約 1℃低くなっていました。北緯 41 度ライン上では, 東経 145 度付近で 12℃以上と高くなっていました。

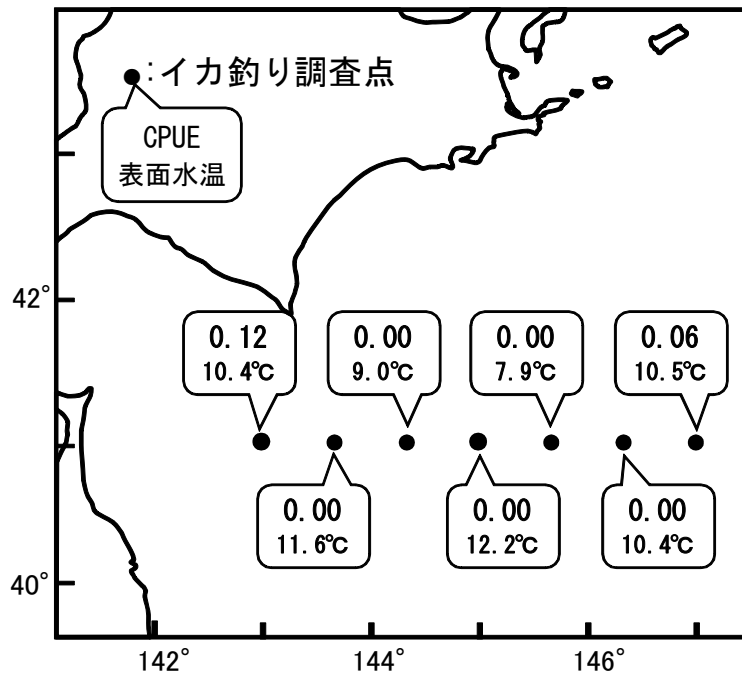


図 1 2010 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温
※分布密度は CPUE(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)で示した。

2. 分布と分布密度 (図 1, 図 2)

スルメイカは調査を行った北緯 41 度ラインの中で, 東西の端の 2 調査点で漁獲があり, その他の 5 調査点では漁獲がありませんでした。7 調査点の分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.00~0.12 でした (図 1)。平均 CPUE は 0.03 で, 前年 (0.43) を下回り, 1993 年以降で最も低い値でした (図 2)。

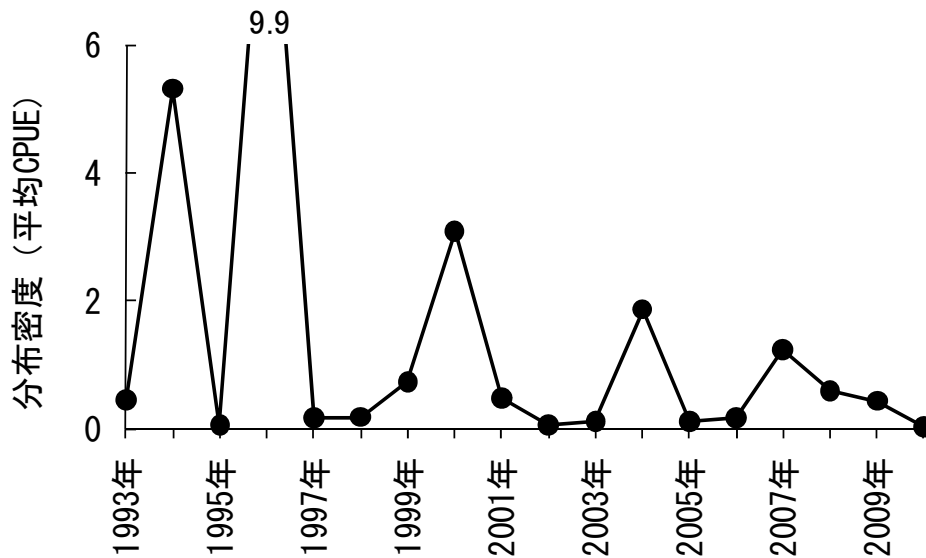


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
 ※各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

3. スルメイカの大きさ (図3)

スルメイカの外套長(胴長)は13cmから16cmまでみられ、前年と同程度の大きさでした。

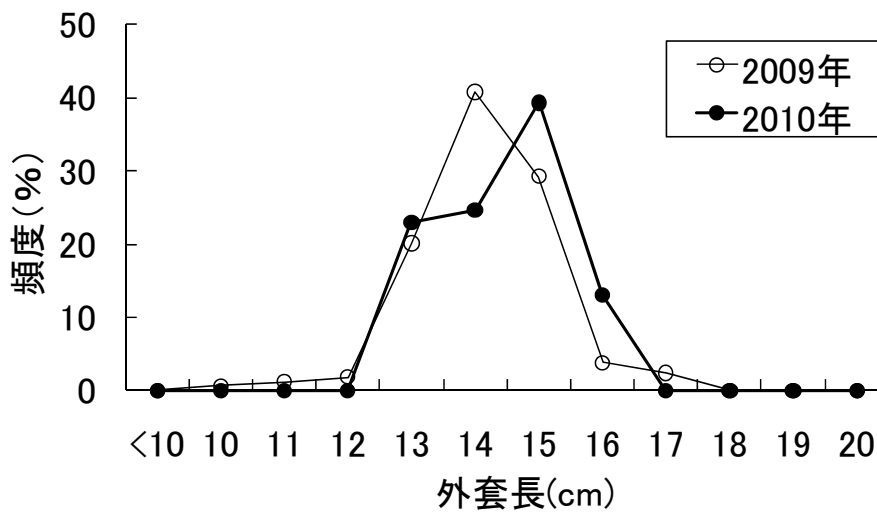


図3 スルメイカの外套長組成

表1 2006～2010年のスルメイカ調査結果

| 調査日程 | 漁獲尾数 | 平均CPUE | 外套長組成 | | 調査点数 |
|---------------|------|--------|--------|---------|------|
| | | | 範囲(cm) | モード(cm) | |
| 2006年 6/14～20 | 52 | 0.16 | 14-19 | 16 | 7 |
| 2007年 6/13～20 | 311 | 1.24 | 6-18 | 14 | 6 |
| 2008年 6/10～17 | 199 | 0.59 | 7-15 | 13 | 7 |
| 2009年 6/9～17 | 165 | 0.43 | 10-17 | 14 | 8 |
| 2010年 6/7～14 | 8 | 0.03 | 13-16 | 15 | 7 |

(文責：釧路水産試験場調査研究部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225)